

特定小電力トランシーバーとの互換性に関して

EXR100 とあわせてお使いになるトランシーバーについては、拡声器機能や CUE 機能など独自の機能が使えない場合があります。EXR100 には、STR 特定小電力トランシーバーの使用をお勧めします。

STR 特定小電力トランシーバーにおいても、ソフトウェアのアップデートによって機能に対応する機種や、一部機能で互換性のないトランシーバーもあります。詳しくは、当社国内営業部にお問い合わせください（電話：03-6711-4055）。

EXR100 の全ての機能に対応している機種とソフトウェアのバージョン
機種：SRS210 シリーズ、SRS220 シリーズ、SR235
ソフトウェアバージョン：“0600” 以降

左記トランシーバーのソフトウェアバージョンの確認方法

- 1. トランシーバーの電源をオフにします。
- 2. [PTTスイッチ]/[ON▼]/[▲SET] を同時に押しながら電源をオンにします。
- 3. [ON▼] キーを1回（SR235の場合は2回）押します。
- 4. 画面にソフトウェアのバージョンが表示されます。



(例) バージョンが 0600 の表示

- 5. 確認が終わったら電源をオフにしてください。

各部の説明

スピーカー
中継している通話の音声、PA(拡声器)機能の音声や CUE(キュー)信号受信時のアラーム音、ビープ音などを出力します。
音が出ないようにすることもできます。

アンテナ
設置場所にあわせて向きを変えることができます。向きを変えるときはアンテナの根元を持って、矢印の方向に動かしてください。

電源ボタン
長押しして電源を ON/OFF します。

セットアップボタン
ボタンを押すだけの“オートセットアップ”で簡単に初期設定ができます。
詳しくは下記の“初期設定（オートセットアップ）”を参照してください。

送信中に赤色に点灯します。
受信中に緑色に点灯します。

緑色点灯：電源が入っているとき
緑色点滅：非常用内蔵バッテリーを使用中のとき
赤色点灯：非常用内蔵バッテリーを充電中のとき
本機の電源がオンの時は充電中でも点灯しません。

・バッテリー A と B の残量を表示します。
緑色点灯：まだ使えます
赤色点滅：残りわずかです
赤色点灯：空になりました。バッテリーを交換してください。
・セットアップ中は、バッテリーAのLEDがオレンジ色に点灯または点滅します。

初期設定（オートセットアップ）

中継通話を行えるようにする

使用するチャンネルにあわせた1台の特定小電力トランシーバー（子機）の電波を受信するだけで、中継通話を行うための設定が自動的に行われます。設定終了後は、全ての子機を同じチャンネルにあわせるだけで中継通話ができます。

① 1台の子機を中継用チャンネルにあわせる
10～18、12～29の中から選びます。

② 長押し
電源を入れる

③ 長押し
バッテリーAのLEDが
オレンジ色で点滅したら放す

④ 押し続ける
約4秒間

⑤ 中継通話をする全ての子機を同じチャンネルにあわせ
ます以上で初期設定は完了です

① 1台の子機を中継用チャンネルにあわせる
10～18、12～29の中から選びます。

② グループ機能を ON にしてグループコードを
あわせる
GP01～GP50、D017～D754の中から選びます。

③ 長押し
電源を入れる

④ 短押し
バッテリーAのLEDがオレンジ色で
点灯します

⑤ 押し続ける
約4秒間

⑥ 中継通話をする全ての子機を同じチャンネルにあわせる

⑦ 中継通話をする全ての子機をグループ機能を ON にして
グループコードをあわせる
以上で初期設定は完了です

- ・子機で中継機能用チャンネルを選択するには、子機の中継機能を“ON”にする必要があります。操作方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
- ・本機が中継動作をしている時（送信 LED が赤色に点灯中）はオートセットアップはできません。
- ・オートセットアップを途中で中止する場合は、セットアップボタンを押します。
- ・より詳細な設定は、パソコンやスマートフォンで設定することができます。（詳しくは裏面の“セットモード”を参照してください。）

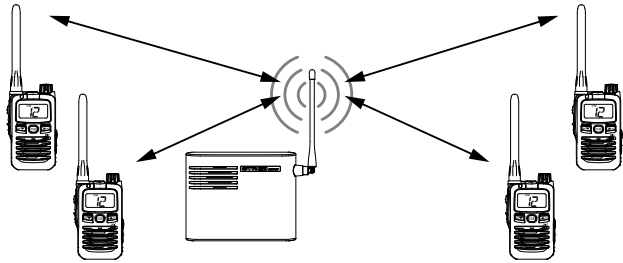
中継通話をする

一度初期設定を行えば、次回からは本機の電源をオンにするだけで中継通話ができます。

- 1. 子機の PTT（通話）スイッチを押しながら話します。
子機の画面に“通話”が表示されていないときは、「ビッ」とビープ音が鳴ってから話しを始めてください。
- 2. 話し終わったら子機の PTT（通話）スイッチを放します。
相手の話を聞くことができます。

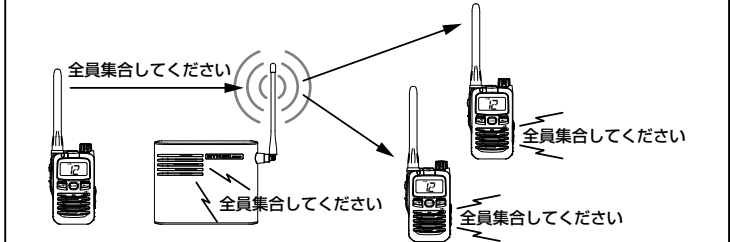
補足

約2秒以上中継通話が行われないと、子機の画面の“通話”表示が消えますので、通話を再開する時は、PTT（通話）スイッチを押して「ビッ」とビープ音が鳴ってから話しを始めてください。



便利な機能

中継しながらスピーカーから音を出す
PA（拡声器）機能



① 特定の子機で必要な時だけ音声をスピーカーから出力する

通常はスピーカーからは音を出さずに通話の中継のみを行い、非常時などの必要な時だけ音声をスピーカーから出力することができます。

- 対応トランシーバー:SR235、SRS220/A、SRS210/A（2021年9月現在）
- 1. 本機のセットモードの“PA 常時モニター音量”を“OFF”に設定します。パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の“セットモード”を参照してください。
- 2. 本機のスピーカーから音声を出力したい子機に、“PA 機能”を割り当てます。割り当て方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
- 3. “PA 機能”を割り当てたキーを押しながら話します。
 - ・本機のスピーカーから音声を出力しながら、同時に全ての子機に中継します。
 - ・スピーカーから音声を出力したくない通話は、PTT（通話）スイッチを押しながら話すと、他の子機への中継のみ行います。
- 4. スピーカーの音量は、本機のセットモード“PA 緊急呼出音量”で1～5のいずれかの数字にします（工場出荷時は“3”に設定されています）。数字が大きいほど音が大きくなります。音量はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。設定方法は裏面の“セットモード”を参照してください。

② 特定の子機の通話音声を常にスピーカーから出力する

特定の子機の音声のみ、常にスピーカーから出力しながら中継することができます。

対応トランシーバー:SR235、SRS220/A、SRS210/A（2021年9月現在）

- 1. 本機のセットモードの“PA 常時モニター音量”を“OFF”に設定します。パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の“セットモード”を参照してください。
- 2. 常に本機のスピーカーから音声を出力したい子機のPTTスイッチに、“PA 機能”を割り当てます。割り当て方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
- 3. PTT（通話）スイッチを押しながら話します。
本機のスピーカーから音声を出力しながら、同時に全ての子機に中継します。
- 4. スピーカーの音量は、本機のセットモード“PA 緊急呼出音量”で1～5のいずれかの数字にします（工場出荷時は“3”に設定されています）。数字が大きいほど音が大きくなります。音量はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。設定方法は裏面の“セットモード”を参照してください。

③ 全ての通話音声を常にスピーカーから出力する

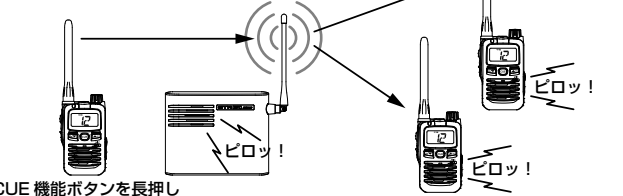
全ての通話音声を本機のスピーカーから出力して、子機を持っていないスタッフにも情報の共有ができます。同時に全ての子機にも中継されますので、現場のスタッフ全員との情報共有が可能です。

- 1. 工場出荷時はスピーカーから音が出ないように設定されていますので、本機のセットモードの“PA 常時モニター音量”を1～5のいずれかの数字にします。
数字が大きいほど音が大きくなります。音量はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。設定方法は裏面の“セットモード”を参照してください。
- 2. 以上で、全ての子機の通話音声を常にスピーカーから出力します。
スピーカーから音が出ない状態に戻すには、上記のセットモードの“PA 常時モニター音量”を OFF に設定します。

本機のスピーカーと全ての子機でアラームを鳴らす
CUE（キュー）機能

子機の CUE 機能キーを長押しするだけで、本機のスピーカーと他の全ての子機でアラーム音が鳴ります。子機のキーを押すだけなので、音声による送信ができない場合でも、スタッフ全員に注意を喚起することができます。

対応トランシーバー（2021年9月現在）
SR235、SRS220/A、SRS210/A



- CUE 機能ボタンを長押し
- 1. 子機の [CUE] キーを「ビビビッ」と音がするまで押します。
 - ・子機の工場出荷時は [CUE] キーに“CUE 機能”が割り当てられています。
 - ・[CUE] キーに他の機能が割り当てられているときは、“CUE 機能”を割り当ててください。
- 2. 他の子機に CUE（キュー）信号を中継しながら、同時に本機のスピーカーから CUE アラーム音を鳴らして、周囲に注意を喚起します。

CUE 機能に関する下記の動作は、パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の“セットモード”を参照してください。

◎ CUE アラーム音の ON/OFF 設定（工場出荷時設定：ON）

セットモード項目“CUE”で設定します。

◎ CUE アラーム音の種類設定

セットモード項目“CUE 呼び出し音”で設定します。

◎ CUE アラーム音の音量設定

セットモード項目“CUE 呼び出し音量”で設定します。

通話エリア通知機能

本機にアクセスする子機に対し、定期的にエリア判定用の確認信号を送出します。子機側では中継エリア（通話エリア）内にいるかどうかを、画面表示とビープ音で確認できます。

対応トランシーバー:SR235、SRS220/A、SRS210/A（2021年9月現在）

状況	電子音	画面表示
中継エリア内	中継エリア内になった時に“ビビッ”と鳴る	電子音が鳴った後“圏内”が点灯する
中継エリア外	中継エリア外になった時に“ブブッ”と鳴る	電子音が鳴った後“圏内”が点滅する

注意 グループコードが設定されている場合のみ動作します。

- 1. 本機のセットモードの“エリア判定機能”を“ON”に設定します。
パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の“セットモード”を参照してください。
- 2. 子機の“コールバック機能”を“ON”に設定します。
設定方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
- 3. 以上で設定は完了です。

これらの機能は下記の機種以外のトランシーバーでは対応していませんのでご注意ください。
ソフトウェアのアップデートに関しては当社国内営業部（03-6711-4055）にお問い合わせください。

SRS210シリーズ、SRS220シリーズ、SR235
（2021年10月現在）

セットモード

本機に内蔵の Wi-Fi（無線 LAN）機能を使って、スマートフォンやパソコンのウェブブラウザの画面で、本機の各種機能をセットアップすることができます。インターネット接続環境は必要ありません。

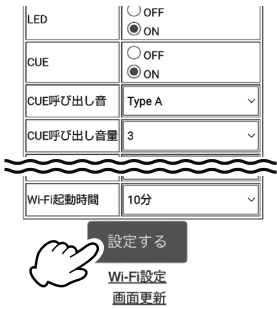
接続方法

●スマートフォン（Android）で設定する

1. 本機の電源を一度オフにして、もう一度オンにします。

注意 電源をオンにしてから“10分”（初期値）以内に、画面の“設定する”をタップして設定を完了してください。10分を超えるとセキュリティの為、自動的に Wi-Fi が切断されます。

2. スマートフォンの [設定] をタップして開きます。
3. [ネットワークとインターネット] をタップして開きます。
4. [Wi-Fi] をタップします。
5. [EXR100-xxxxxxx] (xxxxxxx は本機の製造番号) をタップします。パスワード入力画面が表示されます。
6. パスワードを入力して、[接続] をタップします。パスワード：“12345678”（出荷時設定）
7. もう一度 [EXR100-xxxxxxx] をタップします。
8. [ログイン] をタップしてネットワークにログインします。自動的にブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。
9. 画面をタップして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をタップすると、本機に設定値が保存されます。

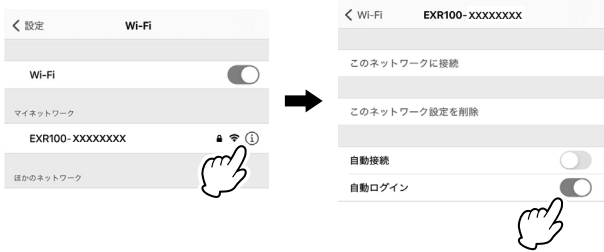


●スマートフォン（iPhone）で設定する

1. 本機の電源を一度オフにして、もう一度オンにします。

注意 電源をオンにしてから“10分”（初期値）以内に、画面の“設定する”をタップして設定を完了してください。10分を超えるとセキュリティの為、自動的に Wi-Fi が切断されます。

2. スマートフォンの [設定] をタップして開きます。
3. [Wi-Fi] をタップします。
4. [EXR100-xxxxxxx] (xxxxxxx は本機の製造番号) をタップします。
5. パスワードを入力して、[接続] をタップします。パスワード：“12345678”（出荷時設定）
6. 自動的にブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。
 - ・自動的にブラウザが起動しない場合は、[設定] をタップした後の“Wi-Fi”画面で [EXR100-xxxxxxx] の右にある [i] をタップし、次の画面で自動ログインを“ON”にしてください。



- ・自動ログインしない場合は、ご使用になるブラウザのアドレスバーに直接 [192.168.1.1] と入力すると、セットモード画面を表します。
7. 画面をタップして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をタップすると、本機に設定値が保存されます。



●パソコン

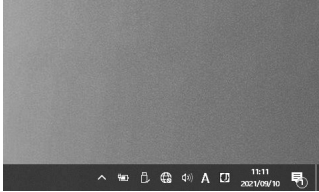
Wi-Fi（無線 LAN）機能のあるパソコンが必要です。

1. 本機の電源を一度オフにして、もう一度オンにします。

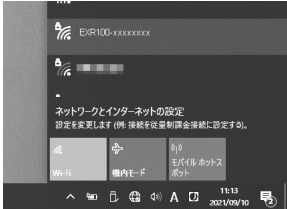
注意 電源をオンにしてから“10分”（初期値）以内に、画面の“設定する”をタップして設定を完了してください。10分を超えるとセキュリティの為、自動的に Wi-Fi が切断されます。

【WINDOWS 画面の表示例】

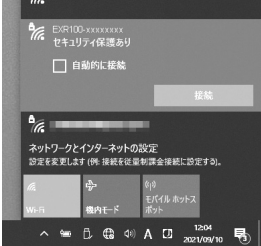
2. 画面の右下の “ ” アイコンを右クリックします。



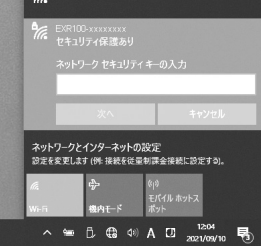
3. [EXR100-xxxxxxx] (xxxxxxx は本機の製造番号) をクリックします。



4. [自動的に接続] のチェックマークを外します。



5. パスワードを入力して、接続をクリックします。パスワード：“12345678”（出荷時設定）自動的にウェブブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。



6. 画面をクリックして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をクリックすると、本機に設定値が保存されます。

Wi-Fi 設定

1. セットモード画面一番下の [Wi-Fi 設定] をタップまたはクリックすると、本機の Wi-Fi 設定変更画面が表示されます

項目名	初期値
SSID	EXR100-xxxxxxx (xxxxxxx は本機の製造番号)
Password	12345678
IP アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

2. [設定する] をタップまたはクリックすると、本機に Wi-Fi 設定の設定値が保存されます。

セットモード一覧

項目名	設定内容	設定値 (太字：初期値)
CH	中継チャンネル設定 ※中継チャンネルはオートセットアップでも設定できます。	10 ～ 18 / 12 ～ 29
グループコード	グループコード設定 ※グループコードはオートセットアップ機能でも設定できます。	OFF / GP01 ～ GP50 / D017 ～ D754
秘話	秘話モード設定 子機の秘話設定と同じ番号にあわせします。	OFF / 1 / 2 / 3
PA 常時 モニター音量	受信音量（全ての通話） 中継している全ての通話をスピーカーから出力する時の音量を設定します。	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5
ビープレベル	ビープ音量 キー操作時のビープ音量を設定します。	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5
スケルチ	スケルチレベル 数字が大きくなるほど弱い信号は中継しなくなります。	1 / 2 / 3 / 4
送信出力	送信出力 1mW に設定すると連続送信時間の制限（3 分間で送信を自動的に中止する）がなくなります。 1mW の設定は、中継チャンネルが 12 ～ 29 の場合のみ有効。	10mW / 1mW
ホールド時間	ホールド時間 子機の信号が弱くなり途切れても通話を維持する時間を設定します。	0 (OFF) / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 (秒)
ファスト接続	ファスト接続機能の ON/OFF 通話時の中継動作における接続時間を短縮できます。 子機もファスト接続機能を ON にする必要があります。	OFF / ON
エリア判定機能	通話エリア判定機能 通話エリア内かどうかを子機の画面とビープ音で知らせます。	OFF / ON
電池音	内蔵バッテリー切替時の警告音送信 非常用の内蔵バッテリーに切り替わった時に、子機に警告音を送信します。	OFF / ON
セーブ	バッテリーセーブ機能 バッテリー動作時にバッテリーの消費を抑えます。	OFF / ON
APO 時間	自動電源オフ機能 電源をオンにしてから設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。	OFF / 1 / 2 / 4 / 8 (時間)
コンパンダ	コンパンダ機能 受信音のサーというバックノイズを軽減します。子機もコンパンダ機能を ON に設定する必要があります。	OFF / ON
LED	LED インジケーター 電源以外の LED インジケータがすべて消灯します。	OFF / ON
CUE	CUE（キュー）受信 CUE 機能を使って子機から送信されたアラーム音をスピーカーから鳴らします。	OFF / ON
CUE 呼び出し音	CUE アラーム音の種類を設定	Type A / Type B / Type C
CUE 呼び出し音量	CUE アラーム音の音量	1 / 2 / 3 / 4 / 5
PA 緊急呼出音量	PA 機能動作時のスピーカー音量 PA 機能で音声スピーカーから出力する時の音量を設定します。	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5
Wi-Fi 起動時間	セットモード設定が可能な時間 本機の電源がオンになってから、Wi-Fi によるセットモードが可能な時間を設定します。	5 / 10 / 15 (分)

初期設定に戻す（オールリセット）

本機の全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

1. 電源ボタンを押して電源をオフにします。
2. セットアップボタンを押しながら、電源ボタンを押して電源をオンにします。
以上でリセットは完了です。

定格

送受信周波数（12.5kHz ステップ）

10ch ～ 18ch：440.2625MHz ～ 440.3625MHz
421.8125MHz ～ 421.9125MHz
12ch ～ 29ch：440.0250MHz ～ 440.2375MHz
421.5750MHz ～ 421.7875MHz

電波型式：F2D、F3E
通信方式：半複信方式
送信出力：10mW 以下 / 1mW 以下
受信感度：－ 14dBμV 以下（@ 12dB SINAD）
低周波出力：最大 4W（@10.5V 外部電源使用時）
最大 1.5W（@7.2V SBR-34LI 使用時）

動作温度範囲：－ 20℃～＋ 50℃

定格電圧：DC3.6V/DC7.2V/DC10.5V
（動作範囲：3.24V ～ 12V）

本体寸法：約 155 × 125 × 37mm
（幅×高さ×奥行き：アンテナおよび突起部を含まず）

本体重量：約 440g

※この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。

※ RoHS 指令準拠

正しくご使用いただくために

- 当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。
 - オプションの大容量リチウムイオンバッテリー“SBR-34LI”を充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください。
 - 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください。
 - 本機を分解・改造することは電波法で禁じられています。
 - 周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。
- 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。

詳しくは下記の URL をご覧ください。

八重洲無線株式会社
〒140-0002
東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル
TEL：03-6711-4055
URL：http://www.yaesu.com/jp/

- 保証期間はお買い上げの日より 3 年間です。
本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から 3 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料での修理をお引き受けします。
誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。
非常用内蔵バッテリーは消耗品のため保証対象外です。化学的経年劣化なども保証対象外になります。
- 保証書は大切に保管してください。
保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものとして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください。
また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入していない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。
- 非常用内蔵バッテリーは消耗品です。
充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。充電しても使用時間が極端に短くなった場合は非常用内蔵バッテリーの寿命です。非常用内蔵バッテリーの交換（有償）は、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお問い合わせください。